

生徒による授業評価の結果について

1. 基準となる指標について

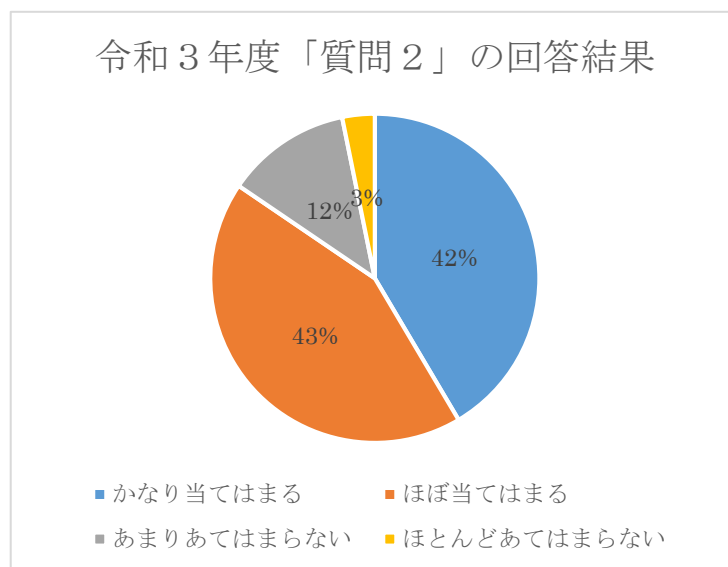
「生徒による授業評価」のうち、質問2の「単元（内容のまとめり）の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある」と質問5「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた」の2つの質問を対象とした。指標については、回答のうち、「かなり当てはまる」と「ほぼ当てはまる」の肯定的な回答と「ほとんどあてはまらない」と「あまりあてはまらない」の否定的な回答をした生徒の変化をみた。

2. 質問2の指標結果の年度比較

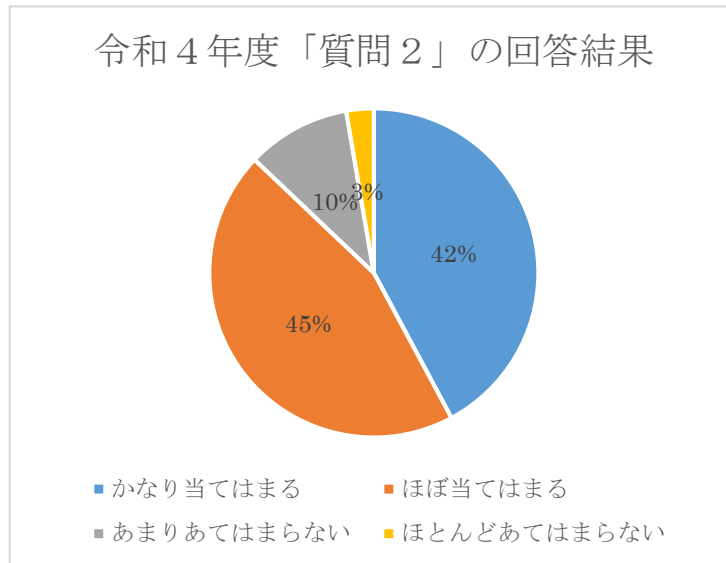
令和3年度は「かなり当てはまる」が41.5%、「ほぼ当てはまる」が43.0%で、肯定的な回答の計は84.5%。「ほとんどあてはまらない」が12.3%、「あまりあてはまらない」が3.2%で、否定的な回答の計は15.5%であった。

令和4年度は「かなり当てはまる」が42.2%、「ほぼ当てはまる」が44.9%で、肯定的な回答の計は87.1%。「ほとんどあてはまらない」が10.2%、「あまりあてはまらない」が2.7%で、否定的な回答の計は12.9%であった。

令和3年度と令和4年度の指標結果を比較すると、肯定的な回答が2.6ポイント増加した。



令和4年度「質問2」の回答結果



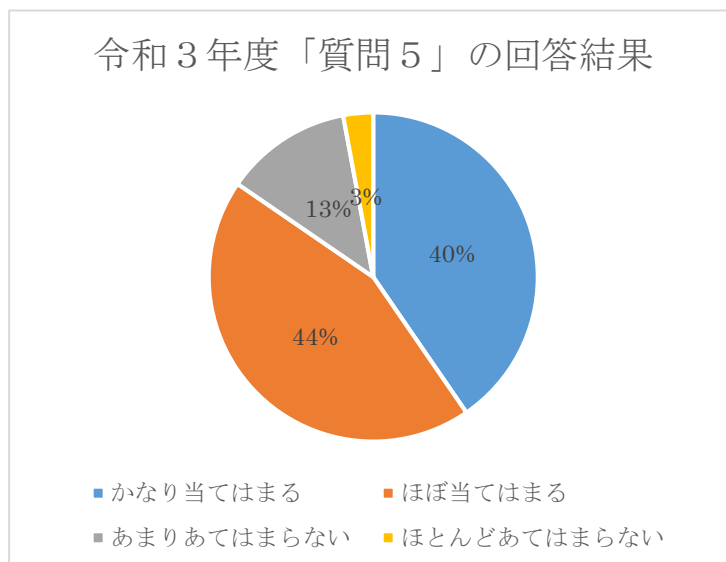
3. 質問5の指標結果の年度比較

令和3年度は「かなり当てはまる」が40.4%、「ほぼ当てはまる」が44.2%で、肯定的な回答の計は84.6%。「ほとんどあてはまらない」が12.5%、「あまりあてはまらない」が2.9%で、否定的な回答の計は15.4%であった。

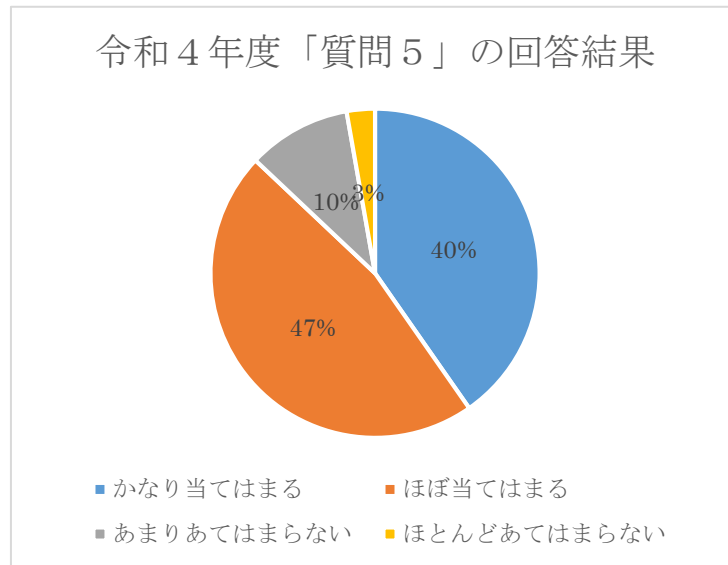
令和4年度は「かなり当てはまる」が40.3%、「ほぼ当てはまる」が46.7%で、肯定的な回答の計は87.0%。「ほとんどあてはまらない」が10.2%、「あまりあてはまらない」が2.8%で、否定的な回答の計は13.0%であった。

令和3年度と令和4年度の指標結果を比較すると、肯定的な回答が2.4ポイント増加した。

令和3年度「質問5」の回答結果



令和4年度「質問5」の回答結果



4. 結果の分析について

質問2と質問5の令和3年度と令和4年度を比較すると、肯定的な回答が、どちらも約85%程度で、改善幅も2.5ポイント前後増加している。

肯定的な回答が大幅に増えたのではないが、多くの生徒が授業等の教育活動を通じて、「他者の考えを知ることで、自らの考えを広げ深めること」ができたことや、「他者の考えを知ることで、新たな考え方を知り、自らの考えを広げ深めること」ができたことを実感し、さらに実感している生徒が着実に増加していることが読み取れる。